

平成28年度通常代議員総会議案書

【審議事項】

- 第1号議案 平成27年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録
及び財務諸表に対する注記の承認について
- 第2号議案 任期満了等に伴う理事 15 名の選任について
- 第3号議案 任期満了に伴う監事 2 名の選任について

平成28年6月23日

一般社団法人 学士会

【審議事項】

第1号議案

平成27年度事業報告並びに決算報告

I. 平成27年度 事業報告（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

事業概況

平成27年度の本会は、取り組むべき重点課題として以下の3点を掲げ、当該課題に対する積極的な取り組みを行いながら、定款に定める各種事業を実施してきました。

- (1) 会員増強活動の強化
- (2) 財務基盤の安定化
- (3) 代議員選挙の円滑な実施

平成27年度の各種事業の実施状況は後段にて詳述致しますが、以下、重点課題に対する取り組み結果等について報告致します。

(1) 会員増強活動の強化

本年度は、昨年度に引き続き会員増強に向けた様々な取組みを組織を挙げて実施して来ました。

入会勧誘に関しましては、七大学及び関連同窓団体・OB団体等の協力を得て、当該団体が主催する各種イベント・催しの参加者に対し、本会への入会を強く働きかけるなどした他、学士会館で開催される大小の集会参加者に対しても『NU7』を配布するなどして、本会活動の紹介と入会勧誘を行いました。また、代議員の皆さまをはじめ、多くの会員の皆さまに未入会者の紹介や積極的な入会勧誘を行って頂きました。

会員にとって本会の存在や活動を一層魅力あるものにするため、既存事業（講演会や会報発行）の内容充実にも努めると共に、若手会員、女性会員にとって魅力のあるプログラムの開発・提供にも取り組んでまいりました（実施活動の具体的内容は、次頁以降で詳述いたします）。

残念ながら、平成27年度末における会員数は対前年1,291名の減（逝去及び会費未納による退会者を含む）となりましたが、入会者数、退会者数、会費未納退会者数のいずれも改善傾向にあり、会員の減少化傾向に一定の歯止めが掛かりつつあるとも言えます。来年度以降も会員増強に向けたこれらの地道な活動を継続的に行っていくと共に、七大学及び関連同窓団体との緊密な連携関係を確立し、入会勧誘に繋がるよう努めてまいります。

(2) 財務基盤の安定化

本会は、事業活動収入の85%を会館運営収入（53%）及び会費収入（32%）に依存しておりますが、会館運営収入に関しましては、運営を全面的に委託する(株)学士会館精養軒との円滑な連携・協力の下で、事業運営に必要な収入が安定的に確保される状況になってきました。また、会費収入に関しましては、今期は終身会費規定の見直しを契機とした終身会費収入の大幅な伸びが見られました。その結果、今期の事業活動収支は事業費支出の節減効果もあり、大幅な黒字（収入超）となり、更に今期は、当面の課題でもありました減価償却費を負担した上での正味財産増減計算書上の“経常損益黒字化”も達成することができました（詳細は決算報告参照）。この結果を一時的な成果に終わらせることの無いよう、今後とも本会業務の効率化を一層進めると共に、会費収入の確保、会館運営事業の収入増に向けた取組みを行ってまいります。

(3) 代議員選挙の円滑な実施

第二期代議員（任期：平成28年4月～31年3月）の選出につきましては、平成27年度通常代議員総会の決定に基づき新たな選挙管理委員会委員（7名）及び選挙区委員会委員（各5名）の選任・委嘱を行い、平成27年11月以降、選挙管理委員会の管理の下で「学士会代議員選挙規則」に基づく一連の選出手続きが円滑に実施され、その結果、定足数どおり100名の第二期代議員が新たに選任されました。

代議員選挙の過程では、七大学及び関連同窓団体等の積極的な協力や参画を得ることが出来、会員増強の観点からも意義のある代議員選挙を実施することが出来ました。

以下、各事業別にその概要を報告致します。

1. 会 報 （『學士會会報』及び『U7』・『NU7』）

本会会報である『學士會会報』と『NU7』（『U7』廃刊後の新媒体）を隔月に同時発行致しました。『學士會会報』は第912号を平成27年5月、第913号を7月、第914号を9月、第915号を11月、第916号を平成28年1月、第917号を3月にそれぞれ発行し、全会員に配布致しました。また、『學士會会報』は七大学各学部図書館に寄贈する他、国立国会図書館や各県立図書館等へも毎号寄贈し、本会の目的でもある“学術的文化的知識の交流普及”に努めました。

また『U7』は平成27年5月に発行した第61号をもって廃刊とし、誌面を刷新した上で『NU7』という新たな誌名を冠して創刊する運びとなりました。第1号を9月、第2号を11月、第3号を平成28年1月、第4号を3月にそれぞれ発行し全会員に配布するとともに、同窓会等で学士会館を利用する卒業生や七大学関係者、そして地域講演会の参加者等に無料で配布し、会員増強に資するよう努めております。

2. 学 士 会 館

(1) 会館の利用実績は次の通りです。

□会 議 室 利 用 回 数	4, 297回 (4, 297回)	※カッコ内は前年1年間の実績
□会 議 室 利 用 人 員	162, 876名 (163, 242名)	} ※延人数 計 337, 785名 [1日平均946名]
□宿 泊 室 利 用 人 員	8, 682名 (7, 425名)	
□レストラン等利用人員	153, 396名 (143, 069名)	
□読書室利用会員	3, 374名 (3, 043名)	
□会員倶楽部室利用会員	9, 457名 (9, 269名)	

(2) 会館を適切に維持・保全するために、次の通り会館の補修・改修工事を行いました。

- ・ダムウェーター(小荷物専用昇降機)2基 改修工事
- ・エレベーター内フィルム改修工事
- ・各所自動扉改修工事
- ・館内カーペット張替工事 (2階北EVホール前)
- ・館内塗装工事 (南階段3～4階、2階北側パントリー)
- ・除外施設塗装補修工事
- ・サッシュ改修工事 (旧館部分)

3. 講演会、談話会、その他の集会

(1) 午 餐 会

本年度は次の通り、各分野で活躍される多彩な方々による講演会を開催し、延1, 297名の
参加がありました。なお、8月、12月は例年通り休会致しました。

観光は物見遊山か	大塚 陸 毅 氏 (平成27年 4月例会)
ビッグバン宇宙創生のインフレーション理論ー観測的実証への期待ー	佐藤 勝 彦 氏 (平成27年 5月例会)
日本の妖怪文化～その特徴と魅力	小松 和 彦 氏 (平成27年 6月例会)
日本経済再生の処方箋	富山 和 彦 氏 (平成27年 7月例会)
特殊詐欺～その巧妙な手口と騙されないための対策	露木 康 浩 氏 (平成27年 9月例会)
これからの内視鏡医療～内視鏡はどこまで進化しているのか	田尻 久 雄 氏 (平成27年10月例会)
家族の多様化と家族法の対応	大村 敦 志 氏 (平成27年11月例会)
雅楽～そのグローバルな魅力	東儀 秀 樹 氏 (平成28年 1月例会)
銅鐸から何がわかるのかー南あわじ銅鐸発見の意義ー	難波 洋 三 氏 (平成28年 2月例会)
経営改革と企業統治	川村 隆 氏 (平成28年 3月例会)

(2) タ 食 会

本年度は次の通り、午餐会と同様に、各分野で活躍される多彩な方々による講演会を開催し、
延1, 447名の参加がありました。なお、5月と8月は例年通り休会、1月は「新春講演会」
開催のため休会致しました。

網膜再生医療を正しく理解する～今後の可能性と限界

高橋 政 代 氏 (平成27年 4月例会)

進化生物学からみた少子化～ヒトだけがなぜ特殊なのか

長谷川 眞理子 氏 (平成27年 6月例会)

政界人物評論・今昔物語

御厨 貴 氏 (平成27年 7月例会)

未踏の海底下深部ー「ちきゅう」の挑戦ー

平 朝 彦 氏 (平成27年 9月例会)

今後の日本外交～アメリカ・中国とどう向き合うべきか

五百旗頭 真 氏 (平成27年10月例会)

財政再建と日本経済

吉川 洋 氏 (平成27年11月例会)

高齢者の賢い薬の飲み方・減らし方

秋下 雅 弘 氏 (平成27年12月例会)

日本の火山の今を知る～富士山も噴火するのか

藤井 敏 嗣 氏 (平成28年 2月例会)

メディアと政治の間

濱田 純 一 氏 (平成28年 3月例会)

(3) 新春講演会

本年度は次の通り、新春講演会を開催し、213名の参加がありました。

世界を照らすLED

天野 浩 氏 (平成28年 1月8日)

(4) 関西茶話会

本年度は、主に関西地区の会員を対象とした関西茶話会を次の通り開催し、延142名の参加がありました。

- 第20回 「新興感染症の脅威と現代世界 ―グローバルな感染症の今後―」
光 山 正 雄 氏 (平成27年 4月18日)
- 第21回 「緑のかおりの生態学 ―生態系における植物由来の揮発性物質の様々な役割―」
高 林 純 示 氏 (平成27年 6月13日)
- 第22回 「ゲリラ豪雨を科学する ―世界最高性能の気象レーダーの研究開発―」
牛 尾 知 雄 氏 (平成27年10月17日)
- 第23回 「生まれ変わった動物園 ―京都市動物園での研究と教育―」
田 中 正 之 氏 (平成28年 2月13日)

(5) 見学会等

本年度は次の通り、見学会等（解説あり）を開催し、各41名、44名、8名の参加がありました。

- 「東京国立博物館見学会」 (平成27年11月11日)
- 「清風荘見学会」 (案内・解説) 今 西 純 一 氏 (平成27年11月28日)
- 「聞香体験会 (香の歴史、作法および組香)」 薫 玉 堂 (平成28年 3月12日)

(6) クリスマス家族会

平成27年12月19日、学士会館においてクリスマス家族会（午餐会・夕食会）を開催致しました。「催し」として劇団こぐま座による着ぐるみ人形劇「三びきのこぶた」と「クリスマスコンサート」を企画し、316名の参加がありました。

(7) 新年祝賀会

平成28年1月5日、久保理事長の挨拶に続いて、大崎副理事長の発声にて乾杯が行われ、賀宴、米澤賢一会員による謡曲披露のあと、歌舞伎企画雅屋による新春歌舞伎で新年を祝いました。150名の参加がありました。

(8) 若手交流会

本年度は次の通り、45歳までの会員を対象とした若手限定交流会を開催し、延103名の参加がありました。

- 第10回 相手に伝える、伝わる話し方 吉 川 美代子 氏 (平成27年 9月11日)
- 第11回 ビジネス美文字講座～文字で伝え、文字で繋がる～
青 山 浩 之 氏 (平成28年 2月24日)
- 若手都電ツアー (平成28年 1月30日)

(9) 若手茶話会

昨年度に引き続き、本年度も35歳までの会員を対象とした若手茶話会（「土曜カフェ」「土曜ランチ」）を定期的に開催し（毎月最終土曜日ー計12回）、若手会員が共通して興味を持つ様々なテーマでの討論やディスカッションを行い、交流を深めました。また、その中から「読書会」を独立させて開催するなどし、延145名の参加がありました。

(10) 女性会

本年度は次の通り、女性会員を対象とした女性会を開催し、延32名の参会がありました。

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 「シルバーアクセサリー作成教室」 | 藤 森 隆 氏 (平成27年 4月11日) |
| 「生パスタ料理教室」 | 遠 藤 陽 子 氏 (平成27年 7月11日) |
| 「“谷根千”さんぽ」 | (平成27年10月 3日) |
| 「お正月飾り作成教室」 | 神 山 裕 美 氏 (平成27年12月 5日) |

(11) 地域講演会

昨年度に続き、北海道、東北、名古屋、九州大学の所在地域で講演会を開催し、延447名の参会がありました。

- | | |
|--|-----------------------------------|
| □北海道地区 (北海道講演会) | 主催 学士会 |
| | 後援 北海道大学・北海道新聞社・NHK札幌放送局 |
| リタとマッサンに学ぶ生き方 | 植 松 三十里 氏 (平成27年10月24日) |
| | (85名) |
| □名古屋地区 (講演会・夕食会) | 主催 学士会、名古屋大学全学同窓会 |
| | 後援 名古屋大学 |
| 高速道路 四方山話 ～名神高速道路が全線開通して50年 高速道路の過去・現在・未来～ | 宮 池 克 人 氏 (平成27年12月 8日) |
| | (132名) |
| □東北地区 (講演会・懇親会) | 主催 学士会 |
| | 共催 東北大学、東北大学萩友会 |
| | 後援 河北新報社、NHK仙台放送局 |
| 日本近代のあゆみと<立憲政治>—その中で大学がしたこと、できなかったこと— | 樋 口 陽 一 氏 (平成28年 2月14日) |
| | (130名) |
| □九州地区 (講演会・懇親会) | 主催 学士会、九州学士会 |
| | 後援 九州大学、九州大学同窓連合会、西日本新聞社、NHK福岡放送局 |
| シーボルトの藤の木～長崎からの洋学事始～ | 久 保 正 彰 氏 (平成28年3月12日) |
| | (100名) |

(12) ホームカミングデーへの出店

昨年度に引き続き、本年度も各大学が主催するホームカミングデーに、次のとおり参加しました。

- | | | |
|-------|----------------------|---------------|
| ①大阪大学 | 学士会紹介 | (平成27年 5月 1日) |
| ②東京大学 | 学士会ビア屋台 | (平成27年10月17日) |
| ③東北大学 | 七大学紹介及び学士会館オリジナル商品紹介 | (平成27年10月31日) |
| ②京都大学 | 七大学紹介及び学士会館オリジナル商品紹介 | (平成27年11月 7日) |

(13) セタパーティー/サマーナイトパーティー/クリスマスパーティー

東京大学校友会と共催で、男女若手独身メンバーを対象とした交流会を開催し、延170名の参会がありました。

「七夕パーティー2015」	37名	(平成27年 7月12日)
「サマーナイトパーティー」	78名	(平成27年 8月29日)
「クリスマスパーティー2015」	55名	(平成27年12月23日)

(14) 七大学学生の集い

学生会員に対する企画イベントとして、平成28年2月24日に「第2回 七大学学生の集い」を開催しました。本年度は、全学部生（昨年は3・4年生）及び大学院生を対象に募集を行い、22名の参会がありました。

(15) 鑑賞ツアー

外部団体が企画・主催する「演劇」「コンサート」「古典芸能」等の文化・芸術イベントを、価格割引、優良席提供等の会員特典を付与して紹介・斡旋する「鑑賞ツアー」を、本年度は13回企画・実施し、延1,303名の参加がありました。

(16) 良縁講座

結婚を希望するお子様をお持ちの会員を対象に、講演会+“婚親会”を行う新企画『親から始める子どものための良縁講座』を、(株)学士会館精養軒と共催し、延80名の参会がありました。

第1弾「子どもの幸せな結婚に向けて、今、親が知っておくべき大切なこと」

落合 歩 氏 (平成27年 8月29日)

第2弾「勘違いしてませんか？相手選び～幸せな結婚体質への道筋～」

安東 徳子 氏 (平成27年12月13日)

(17) その他のイベント等

平成24年ロンドンオリンピック女子マラソン日本代表の尾崎好美氏を講師に、健康づくりの企画としてランニングフォーム&ストレッチ指導を伴う「皇居外周ランニング」を開催し、13名の参会がありました。(平成27年11月23日)

4. 諸会議等

(1) 通常代議員総会

本年度の通常代議員総会を、平成27年6月25日学士会館において開催致しました。当日の出席代議員63名、書面等による議決権行使代議員41名、合計104名の出席により総会が成立し、次の議案を諮りそれぞれ承認可決致しました。

議案 1 平成26年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び財務諸表の注記の承認について

議案 2 任期満了に伴う監事2名の選任について
任期満了となる橋本徹氏及び福井俊彦氏が監事に再任されました。

議案 3 学士会選挙管理委員会委員及び選挙区委員会委員の推薦について

(2) 臨時代議員総会

平成28年3月17日、「臨時代議員総会」を学士会館において開催致しました。当日の出席代議員は67名、書面等による議決権行使代議員33名、計100名の出席により成立し、本田勝彦代議員総会議長のもとで次の議案を審議し、承認可決致しました。

議案 1 平成28年度事業計画案及び予算案について
報告事項 会員増強について

(3) 理事会

本年度において次の通り開催し、諸般の会務について審議決定致しました。

□4月理事会（平成27年4月23日）

1. 平成27年度通常代議員総会の開催について
 2. 平成26年度決算（概要）について
 3. 「会員増強実行委員会」からの提案事項について
 4. 通常代議員総会の議案関連事項について
 - (1) （任期満了及び根本前監事逝去に伴う）監事の選任について
 - (2) 次期代議員の選出手続きについて
 5. 会報編集委員会委員の委嘱について
- 報告 (1) 平成26年度末会員数及び年度内動向
(2) 新卒業学士等の入会状況
(3) 平成27年度の理事会等会議体日程

□5月理事会（平成27年5月28日）

1. 平成27年度通常代議員総会の議案について
 2. ㈱学士会館精養軒の第64期定時株主総会議案について
 3. 『NU7』（『U7』に代わる新媒体）の発行について
- 報告 会員増強について

□6月理事会（平成27年6月25日）

1. 『NU7』の発行について—会員増強実行委員会報告—
- 報告 (1) (本日開催) 通常代議員総会について

□7月理事会（平成27年7月16日）

1. 「資金管理規程」の改訂について
 2. 「学士会代議員選挙規則」の改訂について
- 報告 (1) 会員増強について
(2) 七大戦開会式（7月4日開催）について
(3) 「地域イベント（講演会・交流会）」の開催について

□9月理事会（平成27年9月24日）

1. 『会員氏名録』の発行時期について
- 報告 (1) 選挙管理委員会及び合同選挙区委員会の開催報告（9/9）
(2) 「地域イベント」の開催について
(3) 会員増強について

□ 10月理事会（平成27年10月22日）

1. 平成27年度上半期会計報告について
併せて一(株)学士会館精養軒の平成27年度上半期決算報告一
2. 平成27年度上半期資金運用状況及び下半期資金運用計画（案）について
報告（1）「地域イベント」の開催報告
（2）会員増強について

□ 11月理事会（平成27年11月28日）

1. 平成27年度「臨時代議員総会」の開催について
2. 平成28年度の理事会等開催日程について
報告（1）「七大学総長懇談会（11月18日開催）」 報告
（2）「代議員選挙」における立候補届け出状況
（3）「地域イベント」について
（4）年末年始の「催し」について
（5）会員増強について

□ 1月理事会（平成28年1月28日）

1. 「平成27年度決算見通し」について
報告（1）代議員選挙の進捗状況
①各選挙区別立候補状況
②「特例の選挙方法による代議員選挙実施の告示」内容
（2）会員増強について

□ 2月理事会（平成28年2月25日）

1. 平成27年度「臨時代議員総会」の開催について
2. 平成28年度事業計画案について
3. 平成28年度予算案及び資金計画案について
4. 南原常務理事（会員増強実行委員会委員長）逝去に伴う
「会員増強実行委員会」委員及び委員長の選任について
報告（1）会員増強について

□ 3月理事会（平成28年3月17日）

- 報告（1）（本日開催）臨時代議員総会について
（2）代議員選挙の投票結果（締切：3月15日）について

（4）監事会（平成27年5月28日）

以下の議題について、検査及び審議を行いました。

1. 平成26年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び財務諸表の注記の検査
2. 「公益目的支出計画実施報告書」の内容について
3. 監査法人からの報告
4. 代議員総会第2号議案（任期満了に伴う監事2名の選任）について

(5) 常 務 会

毎月定期的に常務会を開催し、理事会提出議案の審議等、種々の会務を審議し必要事項を決定致しました。

(6) 諸 委 員 会

ア. 会報編集委員会

本年度は次の通り開催し、種々検討・協議の上、各号の執筆候補者を決定致しました。

第1回	平成27年	5月28日	会報第915号
第2回	平成27年	7月16日	会報第916号
第3回	平成27年	9月24日	会報第917号
第4回	平成27年	11月28日	会報第918号
第5回	平成28年	1月28日	会報第919号
第6回	平成28年	3月17日	会報第920号

イ. 会員増強実行委員会

委員会は、次の通り開催され、会員増強に向けての各種施策について協議を行いました。また、新媒体『NU7』の内容や発行体制を決め、隔月で発行しています。委員長は第10回委員会までは南原常務理事、以降は富浦常務理事が務めました。

第5回	平成27年	4月9日
第6回	平成27年	6月4日
第7回	平成27年	7月6日
第8回	平成27年	9月7日
第9回	平成27年	11月10日
第10回	平成28年	1月13日
第11回	平成28年	3月1日

なお、本委員会は平成28年4月以降も継続して開催されております。

ウ. 趣味同好会

平成27年12月1日に撞球、囲碁、将棋、俳句、漢詩、短歌、落語各会の年間優秀会員にそれぞれ理事長杯を授与し、その後、委員会を開催し、懇談を行いました。

5. 会 員

本年度における会員の増減及び年度末会員数は次の通りです。()内は前年度実績

新 会 員	843名	(819名)
逝 去 会 員	696名	(939名)
退 会 会 員	1,026名	(1,155名)
会費長期未納退会者	412名	(452名)
差 引 減	1,291名	(1,718名)
現 在 会 員 数	47,995名	*内 終身会員4,758名

(注：「終身会員」の内、戦前に制定された終身会員制度による加入者が712名、平成21年度より、新たに制度化された「新終身会員」が4,046名になります。)

6. その他

当会は、(株)学士会館精養軒に学士会館の運營業務を委託しておりますが、平成16年2月以降、当会が同社の株式を100%保有しております。 同社の概要は次の通りです。

[株式会社学士会館精養軒の概要] (平成28年3月31日現在)

- 名 称 株式会社学士会館精養軒
- 所 在 東京都千代田区神田錦町3-28-1
- 代表者 代表取締役社長 渡邊 幸重
- 資本金 10,000,000円
- 売上高 1,685,366千円 (平成27年度決算)

(株)学士会館精養軒の平成27年度の営業結果は、次の通りです。

□平成27年度 (平成27年4月1日～平成28年3月31日) 決算

- ・売上高 1,685,366千円 (前年度：1,677,401千円)
- ・営業利益 54,738千円 (同：53,701千円)
- ・経常利益 61,351千円 (同：94,794千円)

なお、当会との取引関係については、「平成27年度決算報告」における「財務諸表の注記」をご参照下さい。

Ⅱ. 平成 27 年度 決算報告 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

貸借対照表

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	225,139,279	186,830,836	38,308,443
未収金	37,823,861	37,967,124	△ 143,263
前払費用	1,540,210	2,991,187	△ 1,450,977
未収消費税等	0	4,101,800	△ 4,101,800
流動資産合計	264,503,350	231,890,947	32,612,403
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	432,393,320	432,393,320	0
建物	436,497,890	497,024,155	△ 60,526,265
基本財産合計	868,891,210	929,417,475	△ 60,526,265
(2) 特定資産			
建物改築引当特定資産	1,573,780,000	1,530,068,400	43,711,600
建物設備修繕特定資産	1,498,387,970	1,448,007,191	50,380,779
会員活動強化特定資産	358,782,328	326,654,808	32,127,520
退職給付引当特定資産	74,764,450	70,264,450	4,500,000
役員退職慰労引当特定資産	4,476,677	3,995,427	481,250
特定資産合計	3,510,191,425	3,378,990,276	131,201,149
(3) その他固定資産			
什器備品	36,838,730	41,215,549	△ 4,376,819
一括償却資産	900,287	947,068	△ 46,781
ソフトウェア	2,221,276	3,374,954	△ 1,153,678
子会社株式	16,000	16,000	0
その他固定資産合計	39,976,293	45,553,571	△ 5,577,278
固定資産合計	4,419,058,928	4,353,961,322	65,097,606
資産合計	4,683,562,278	4,585,852,269	97,710,009

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	23,104,313	20,189,601	2,914,712
前受金	2,386,835	4,812,015	△ 2,425,180
預り金	923,059	966,153	△ 43,094
未払消費税等	16,015,100	0	16,015,100
賞与引当金	6,933,000	6,667,000	266,000
流動負債合計	49,362,307	32,634,769	16,727,538
2. 固定負債			
退職給付引当金	74,764,450	70,264,450	4,500,000
役員退職慰労引当金	4,476,677	4,014,177	462,500
固定負債合計	79,241,127	74,278,627	4,962,500
負債合計	128,603,434	106,913,396	21,690,038
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	4,554,958,844	4,478,938,873	76,019,971
(うち基本財産への充当額)	(868,891,210)	(929,417,475)	(△60,526,265)
(うち特定資産への充当額)	(3,430,950,298)	(3,304,730,399)	(126,219,899)
正味財産合計	4,554,958,844	4,478,938,873	76,019,971
負債及び正味財産合計	4,683,562,278	4,585,852,269	97,710,009

正味財産増減計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益			
特定資産受取利息	28,119,300	36,038,913	△ 7,919,613
② 受取会費			
普通会費収益	175,495,700	183,375,700	△ 7,880,000
終身会費収益	30,050,000	18,400,000	11,650,000
③ 会館運営収益			
業務委託固定収益	289,540,000	273,680,000	15,860,000
業務委託変動収益	50,215,862	49,958,689	257,173
④ 事業収益			
講演会等収益	28,528,020	17,862,326	10,665,694
同好会費収益	566,935	674,080	△ 107,145
会報等広告料収益	16,201,099	21,285,499	△ 5,084,400
氏名録発行収益	187,975	32,791,128	△ 32,603,153
⑤ 雑収益			
受取利息及び配当金	16,041,876	16,050,466	△ 8,590
その他収益	3,695,056	1,931,071	1,763,985
経常収益計	638,641,823	652,047,872	△ 13,406,049
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	2,332,040	2,339,775	△ 7,735
給与手当	96,378,093	94,742,046	1,636,047
賞与引当金繰入額	5,130,420	4,933,580	196,840
退職給付費用	3,330,000	4,144,000	△ 814,000
福利厚生費	16,070,312	16,393,145	△ 322,833
旅費交通費	2,980,165	3,364,435	△ 384,270
電話費	781,023	870,255	△ 89,232
減価償却費	83,454,554	93,489,669	△ 10,035,115
什器備品費	1,314,845	2,041,403	△ 726,558
文房印刷費	533,200	625,054	△ 91,854
消耗品費	3,984,761	5,849,664	△ 1,864,903
図書費	432,952	427,178	5,774
営繕費	21,635,511	216,796,672	△ 195,161,161
施設保守費	63,748,069	62,499,917	1,248,152
給水冷暖房費	21,632,924	21,248,914	384,010
電灯電力費	34,682,462	36,844,569	△ 2,162,107
保険料	1,095,117	1,084,700	10,417
租税公課	57,229,900	55,264,100	1,965,800
会報費	63,405,655	79,034,296	△ 15,628,641
氏名録関連費	61,555	26,896,405	△ 26,834,850
講演会等経費	28,232,218	17,490,160	10,742,058
会員活動強化費	1,872,649	1,641,350	231,299
七大戦支援費	7,380,000	7,800,000	△ 420,000
システム管理費	5,227,973	3,746,586	1,481,387
会場施設使用料	1,749,789	1,667,889	81,900
事業費計	524,676,187	761,235,762	△ 236,559,575

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
② 管理費			
役員報酬	5,364,955	5,496,484	△ 131,529
給与手当	33,862,583	37,696,721	△ 3,834,138
賞与引当金繰入額	1,802,580	1,733,420	69,160
役員退職慰労引当金繰入額	802,500	827,082	△ 24,582
退職給付費用	1,170,000	1,456,000	△ 286,000
福利厚生費	7,104,109	8,298,925	△ 1,194,816
旅費交通費	1,390,695	3,421,841	△ 2,031,146
会議費	7,904,376	4,405,255	3,499,121
賃借料	115,628	115,628	0
電話費	334,728	372,968	△ 38,240
減価償却費	3,874,554	8,262,187	△ 4,387,633
文房印刷費	228,520	267,881	△ 39,361
給水冷暖房費	669,071	657,193	11,878
電灯電力費	1,072,659	1,139,527	△ 66,868
租税公課	19,485,348	32,028,904	△ 12,543,556
会員活動強化費	3,558,160	3,214,678	343,482
集金費	5,652,239	7,467,958	△ 1,815,719
業務報酬料	5,500,000	6,950,000	△ 1,450,000
システム管理費	4,559,974	2,822,289	1,737,685
雑費	1,350,450	991,447	359,003
管理費計	105,803,129	127,626,388	△ 21,823,259
経常費用計	630,479,316	888,862,150	△ 258,382,834
評価損益等調整前当期経常増減額	8,162,507	△ 236,814,278	244,976,785
特定資産評価損益等	68,905,400	30,434,400	38,471,000
当期経常増減額	77,067,907	△ 206,379,878	283,447,785
2.経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 特定資産償還益	0	7,780,000	△ 7,780,000
経常外収益計	0	7,780,000	△ 7,780,000
(2) 経常外費用			
① 基本財産除却損	755,281	36,651,782	△ 35,896,501
② 特定資産償還損	0	410,000	△ 410,000
③ 固定資産除却損	152,655	659,385	△ 506,730
経常外費用計	907,936	37,721,167	△ 36,813,231
当期経常外増減額	△ 907,936	△ 29,941,167	29,033,231
税引前一般正味財産増減額	76,159,971	△ 236,321,045	312,481,016
法人税・住民税及び事業税	140,000	140,000	0
当期一般正味財産増減額	76,019,971	△ 236,461,045	312,481,016
一般正味財産期首残高	4,478,938,873	4,715,399,918	△ 236,461,045
一般正味財産期末残高	4,554,958,844	4,478,938,873	76,019,971
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	4,554,958,844	4,478,938,873	76,019,971

平成27年度 正味財産増減計算内訳書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：円)

科目	実施事業等会計			その他事業会計						法人会計	合計
	会報発行事業	寄附事業	小計	会館運営事業	講演会等事業	会員親睦事業	七大学支援事業	その他事業	小計		
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
① 特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28,119,300	28,119,300
特定資産受取利息				0	0	0	0	0	0	28,119,300	28,119,300
② 受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	205,545,700	205,545,700
普通会費収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	175,495,700	175,495,700
終身会費収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30,050,000	30,050,000
③ 会館運営収益	0	0	0	339,755,862	0	0	0	0	339,755,862	0	339,755,862
業務委託固定収益	0	0	0	289,540,000	0	0	0	0	289,540,000	0	289,540,000
業務委託変動収益	0	0	0	50,215,862	0	0	0	0	50,215,862	0	50,215,862
④ 事業収益	16,201,099	0	16,201,099	0	8,745,394	4,869,275	0	15,668,261	29,282,930	0	45,484,029
講演会費等収益	0	0	0	0	8,745,394	4,114,365	0	15,668,261	28,528,020	0	28,528,020
同好会費収益	0	0	0	0	0	566,935	0	0	566,935	0	566,935
会報等広告料収益	16,201,099	0	16,201,099	0	0	0	0	0	0	0	16,201,099
氏名録発行収益	0	0	0	0	0	187,975	0	0	187,975	0	187,975
⑤ 雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19,736,932	19,736,932
受取利息及び配当金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16,041,876	16,041,876
その他収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,695,056	3,695,056
経常収益計	16,201,099	0	16,201,099	339,755,862	8,745,394	4,869,275	0	15,668,261	369,038,792	253,401,932	638,641,823
(2) 経常費用											
① 事業費	107,406,836	7,380,000	114,786,836	281,386,499	27,884,966	45,191,556	21,287,073	34,139,257	409,889,351	0	524,676,187
役員報酬	2,332,040	0	2,332,040	0	0	0	0	0	0	0	2,332,040
給与手当	26,022,085	0	26,022,085	26,022,085	13,492,933	14,456,713	6,746,466	9,637,811	70,356,008	0	96,378,093
賞与引当金繰入額	1,385,213	0	1,385,213	1,385,213	718,258	769,563	359,129	513,044	3,745,207	0	5,130,420
退職給付費用	899,100	0	899,100	899,100	466,200	499,500	233,100	333,000	2,430,900	0	3,330,000
福利厚生費	4,338,984	0	4,338,984	4,338,984	2,249,843	2,410,546	1,124,921	1,607,034	11,731,328	0	16,070,312
旅費交通費	804,644	0	804,644	804,644	417,223	447,024	208,611	298,019	2,175,521	0	2,980,165
電話費	226,496	0	226,496	0	195,255	249,927	15,620	93,725	554,527	0	781,023
減価償却費	1,669,091	0	1,669,091	59,252,733	834,545	12,518,183	7,510,909	1,669,093	81,785,463	0	83,454,554
什器備品費	0	0	0	1,314,845	0	0	0	0	1,314,845	0	1,314,845
文房印刷費	154,628	0	154,628	0	133,300	170,624	10,664	63,984	378,572	0	533,200
消耗品費	0	0	0	3,187,808	398,476	398,477	0	0	3,984,761	0	3,984,761
図書費	0	0	0	432,952	0	0	0	0	432,952	0	432,952
営繕費	0	0	0	21,635,511	0	0	0	0	21,635,511	0	21,635,511
施設保守費	0	0	0	63,748,069	0	0	0	0	63,748,069	0	63,748,069
給水冷暖房費	432,658	0	432,658	15,359,376	216,329	3,244,938	1,946,963	432,660	21,200,266	0	21,632,924
電灯電力費	693,649	0	693,649	24,624,548	346,824	5,202,369	3,121,421	693,651	33,988,813	0	34,682,462
保険料	0	0	0	1,095,117	0	0	0	0	1,095,117	0	1,095,117
租税公課	0	0	0	57,229,900	0	0	0	0	57,229,900	0	57,229,900
会報費	63,405,655	0	63,405,655	0	0	0	0	0	0	0	63,405,655
氏名録関係費	0	0	0	0	0	61,555	0	0	61,555	0	61,555
講演会等経費	0	0	0	0	7,395,435	4,102,503	0	16,734,280	28,232,218	0	28,232,218
会員活動強化費	0	0	0	0	0	0	0	1,872,649	1,872,649	0	1,872,649
七大学支援費	0	7,380,000	7,380,000	0	0	0	0	0	0	0	7,380,000
システム管理費	5,042,593	0	5,042,593	55,614	46,345	46,345	9,269	27,807	185,380	0	5,227,973
会場施設使用費	0	0	0	0	974,000	613,289	0	162,500	1,749,789	0	1,749,789

②管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	105,803,129	105,803,129
役員報酬											5,364,955	5,364,955
給与手当											33,862,583	33,862,583
賞与引当金繰入額											1,802,580	1,802,580
役員退職慰労引当金繰入額											802,500	802,500
退職給付費用											1,170,000	1,170,000
福利厚生費											7,104,109	7,104,109
旅費交通費											1,390,695	1,390,695
会議費											7,904,376	7,904,376
賃借料											115,628	115,628
電話費											334,728	334,728
減価償却費											3,874,554	3,874,554
文房印刷費											228,520	228,520
給水冷暖房費											669,071	669,071
電灯電力費											1,072,659	1,072,659
租税公課											19,485,348	19,485,348
会員活動強化費											3,558,160	3,558,160
集金費											5,652,239	5,652,239
業務報酬料											5,500,000	5,500,000
システム管理費											4,559,974	4,559,974
雑費											1,350,450	1,350,450
経常費用計	107,406,836	7,380,000	114,786,836	281,386,499	27,884,966	45,191,556	21,287,073	34,139,257	409,889,351	105,803,129	630,479,316	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 91,205,737	△ 7,380,000	△ 98,585,737	58,369,363	△ 19,139,572	△ 40,322,281	△ 21,287,073	△ 18,470,996	△ 40,850,559	147,598,803	8,162,507	
特定資産評価損益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68,905,400	68,905,400	
当期経常増減額	△ 91,205,737	△ 7,380,000	△ 98,585,737	58,369,363	△ 19,139,572	△ 40,322,281	△ 21,287,073	△ 18,470,996	△ 40,850,559	216,504,203	77,067,907	
2. 経常外増減の部												
(1) 経常外収益												
①特定資産償還益											0	0
経常外収益計											0	0
(2) 経常外費用												
①基本財産除却損											755,281	755,281
建物附属設備除却損											755,281	755,281
②特定資産償還損											0	0
③固定資産除却損											152,655	152,655
什器備品除却損											152,655	152,655
経常外費用計											907,936	907,936
当期経常外増減額											△ 907,936	△ 907,936
税引前一般正味財産増減額												76,159,971
法人税・住民税及び事業税												140,000
当期一般正味財産増減額												76,019,971
一般正味財産期首残高												4,478,938,873
一般正味財産期末残高												4,554,958,844
II 指定正味財産増減の部												
当期指定正味財産増減額												0
指定正味財産期首残高												0
指定正味財産期末残高												0
III 正味財産期末残高												4,554,958,844

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ①子会社株式：原価法によっている。
- ②その他有価証券：期末の市場価格等に基づく時価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

建物及び什器備品：定率法によっている。但し、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備は除く）は定額法、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく方法によっている。また税法上の一括償却資産に該当するものは、3年間の均等償却によっている。

無形固定資産

ソフトウェア：法人内における利用可能期間（5年）に基づき定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

- ①賞与引当金：職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
- ②退職給付引当金：職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末に発生していると認められる額を計上している。なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。
- ③役員退職慰労引当金：役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式によっている。

(5) 実施事業資産

学士会館の面積2%相当を事務スペースとして使用。

（土地 8,647,866 円 建物 8,729,957 円）

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土 地	432,393,320	—	—	432,393,320
建 物	497,024,155	14,367,077	74,893,342	436,497,890
小 計	929,417,475	14,367,077	74,893,342	868,891,210
特定資産				
建物改築引当特定資産	1,530,068,400	43,711,600	—	1,573,780,000
建物設備修繕特定資産	1,448,007,191	172,514,280	122,133,501	1,498,387,970
会員活動強化特定資産	326,654,808	33,537,520	1,410,000	358,782,328
退職給付引当特定資産	70,264,450	4,500,000	—	74,764,450
役員退職慰労引当特定資産	3,995,427	481,250	—	4,476,677
小 計	3,378,990,276	254,744,650	123,543,501	3,510,191,425
合 計	4,308,407,751	269,111,727	198,436,843	4,379,082,635

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
土 地	432,393,320	—	(432,393,320)	—
建 物	436,497,890	—	(436,497,890)	—
小 計	868,891,210	—	(868,891,210)	—
特定資産				
建物改築引当特定資産	1,573,780,000	—	(1,573,780,000)	—
建物設備修繕特定資産	1,498,387,970	—	(1,498,387,970)	—
会員活動強化特定資産	358,782,328	—	(358,782,328)	—
退職給付引当特定資産	74,764,450	—	—	(74,764,450)
役員退職慰労引当特定資産	4,476,677	—	—	(4,476,677)
小 計	3,510,191,425	—	(3,430,950,298)	(79,241,127)
合 計	4,379,082,635	—	(4,299,841,508)	(79,241,127)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	2,071,541,714	1,635,043,824	436,497,890
什 器 備 品	230,708,803	193,870,073	36,838,730
一 括 償 却 資 産	6,291,660	5,391,373	900,287
ソ フ ト ウ ェ ア	60,330,666	58,109,390	2,221,276
合 計	2,368,872,843	1,892,414,660	476,458,183

5. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

属性	法人等の名称	住所	資産総額	事業内容	議決権所有割合
子会社	株式会社 学士会館精養軒	東京都千代田区神田錦町 3-28-1	691,525,898	飲食業・ 旅館他	100%

関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
役員の兼務等	事業上の関係	会館運営に伴う 施設貸与(※)	338,215,862	未収金	31,585,836
—	会館運営の委託				

上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税が含まれている。

取引条件及び取引条件の決定方針等

(※) 価格その他の取引は、市場実勢を参考に当会が希望価格を提示し、価格交渉の上で決定している。

6. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

①退職給付債務	△ 74,764,450
②会計基準変更時差異の未処理額	0
③退職給付引当金(①+②)	△ 74,764,450

(3) 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

①勤務費用	4,500,000
②会計基準変更時差異の費用処理額	0
③退職給付費用(①+②)	4,500,000

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産明細

財務諸表に対する注記に記載しているため、附属明細での記載を省略している。

2. 引当金明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞 与 引 当 金	6,667,000	6,933,000	6,667,000	—	6,933,000
退 職 給 付 引 当 金	70,264,450	4,500,000	—	—	74,764,450
役員退職慰労引当金	4,014,177	802,500	340,000	—	4,476,677
合 計	80,945,627	12,235,500	7,007,000	—	86,174,127

財 産 目 録

(平成28年3月31日現在)

(単位：円)

科 目		金	額
I 資 産 の 部			
1. 流動資産			
現金預金			
現 金	(手許有高)	327,019	
振替預金	(ゆうちょ銀行)	75,837,192	
普通預金	(三菱東京UFJ銀行他)	148,975,068	
未収金	(会館運営収入未収分他)	37,823,861	
前払費用	(損害保険、鑑賞ツアー他)	1,540,210	
流動資産合計			264,503,350
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土 地	(千代田区神田錦町三丁目 28番1, 28番2, 28番3, 28番4, 敷地3, 399.97㎡)	432,393,320	
建 物	(千代田区神田錦町三丁目 28番地1学生会館建物地下1 階付5階建延9, 337.47㎡)	436,497,890	
基本財産合計		868,891,210	
(2) 特定資産			
建物改築引当特定資産	(第311回利付10年国債他)	1,573,780,000	
建物設備修繕特定資産	(第144回三菱東京UFJ銀行債他)	1,498,387,970	
会員活動強化特定資産	(第27回三井住友銀行債他)	358,782,328	
退職給付引当特定資産	(三井住友銀行定期預金他)	74,764,450	
役員退職慰労引当特定資産	(三菱東京UFJ銀行普通預金)	4,476,677	
特定資産合計		3,510,191,425	
(3) その他固定資産			
什器備品	(家具製品他)	36,838,730	
一括償却資産	(火災報知器他)	900,287	
ソフトウェア	(会計用サーバー他)	2,221,276	
子会社株式	(㈱学生会館精養軒)	16,000	
その他固定資産合計		39,976,293	
固定資産合計			4,419,058,928
資 産 合 計			4,683,562,278
II 負 債 の 部			
1. 流動負債			
未払金	(各業者に対する未払額)	23,104,313	
前受金	(28年度分鑑賞ツアー他)	2,386,835	
預り金	(職員他源泉所得税他)	923,059	
未払消費税等	(27年度確定消費税額)	16,015,100	
賞与引当金	(職員賞与に対する引当金)	6,933,000	
流動負債合計			49,362,307
2. 固定負債			
退職給付引当金	(職員16名分)	74,764,450	
役員退職慰労引当金	(役員18名分)	4,476,677	
固定負債合計			79,241,127
負 債 合 計			128,603,434
正 味 財 産			4,554,958,844

平成 28 年 5 月 26 日

監 査 報 告

一般社団法人 学士会
理事長 久保 正彰 様

一般社団法人 学 士 会

監 事 若 井 恒 雄 ⑩

監 事 岡 田 明 重 ⑩

監 事 橋 本 徹 ⑩

監 事 福 井 俊 彦 ⑩

平成 27 年度の事業報告、計算書類、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により、監査方針を定めた上で、監事間で協議して監査を実施しました。

具体的には、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求めました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類及びその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

第2号議案

任期満了等に伴う理事15名の選任について

現任理事14名全員が本代議員総会終結の時をもって任期満了となります。また、任期中に南原晃前理事が逝去され補充選任は行われておりません。したがって、本代議員総会にて理事15名の選任をお願いいたします。

候補者は次のとおりです。

候補者 番号	氏名	出身大学・学部 卒年等	略歴、本会における役職等
1	おおさき ひとし 大崎 仁	京都大学 法学部 昭和30年卒	学士会 副理事長・会報編集委員長 人間文化研究機構 機構長特別顧問 元文化庁長官
2	とみうら あずさ 富浦 梓	九州大学 工学部 昭和31年卒	学士会 常務理事・会報編集委員 (独)科学技術振興機構 社会技術研究開発センター 研究開発成果実技支援プログラム プログラムオフィサー 元東京工業大学監事
3	いがらし みつお 五十嵐 三津雄	北海道大学 法学部 昭和38年卒	学士会 理事 (公財)大川情報通信基金 会長 元郵政事務次官
4	こばやし しゅんいち 小林 俊一	大阪大学 理学部 昭和37年卒	学士会 理事 理化学研究所 名誉相談役 元東京大学副学長(名誉教授)
5	くまがい のぶあき 熊谷 信昭	大阪大学 工学部 昭和28年卒	学士会 理事 大阪大学同窓会連合会会長 元大阪大学総長(名誉教授)
6	しのざわ きょうすけ 篠沢 恭助	東京大学 法学部 昭和35年卒	学士会 理事・会報編集委員 (公財)資本市場研究会 理事長 元大蔵事務次官
7	かじやま ちさと 梶山 千里	九州大学 工学部 昭和39年卒	学士会 理事 福岡女子大学 理事長・学長 元九州大学総長(名誉教授)
8	ながお まこと 長尾 真	京都大学 工学部 昭和34年卒	学士会 理事 元国立国会図書館館長 元京都大学総長(名誉教授)
9	にわ ういちろう 丹羽 宇一郎	名古屋大学 法学部 昭和37年卒	学士会 理事 元伊藤忠商事株式会社取締役社長 元中華人民共和国駐箚特命全権大使
10	ささき たけし 佐々木 毅	東京大学 法学部 昭和40年卒	学士会 理事 元東京大学総長(名誉教授)、日本学士院会員 (公社)国土緑化推進機構 理事長

1 1	おおがき しんいちろう 大垣 眞一郎	東京大学 工学部 昭和 44 年卒	学士会 理事 東京大学名誉教授 (公財)水道技術研究センター理事長
1 2	きりの たかあき 桐野 高明	東京大学 医学部 昭和 47 年卒	学士会 理事 前(独)国立病院機構 理事長 元東京大学理事・副学長
1 3 新任	あべ ひろゆき 阿部 博之	東北大学 工学部 昭和 34 年卒	学士会 選挙管理委員会委員 (独)科学技術振興機構特別顧問 元東北大学総長 (名誉教授)
1 4 新任	かばやま こういち 樺山 紘一	東京大学 文学部 昭和 40 年卒	学士会 代議員 印刷博物館館長 東京大学名誉教授
1 5 新任	いなば のぶお 稲葉 延雄	東京大学 経済学部 昭和 49 年卒	(株)リコー 取締役 前リコー経済社会研究所所長 元日本銀行理事

第3号議案

任期満了に伴う監事2名の選任について

現任監事4名のうち、本代議員総会終結の時をもって若井恒雄監事、岡田明重監事の2名が任期満了となりますので、監事2名の選任をお願いいたします。

本議案につきましては、監事全員の同意を得ております。

候補者は次のとおりです。

候補者 番号	氏 名	出身大学・学部 卒年等	略歴、本会における役職等
1	おかだ 岡田 明重	東京大学 法学部 昭和38年卒	学士会 監事 三井住友銀行 名誉顧問 元三井住友銀行会長
2 新任	みき 三木 繁光	東京大学 法学部 昭和33年卒	三菱東京UFJ銀行特別顧問 元三菱東京UFJ銀行会長

